

仮想オフィスに新機能

日立ソリューション 座席予約で対話支援

日立ソリューションズ・クリエイト（東京都品川区、竹田広光社長）は、オフィスでの勤務とテレワークを組み合わせた「ハイブリッドワーク」に対応する「仮想オフィスサービス」に、対面での会話を支援する機能を開発した。現実のオフィスに出勤する際の座席予約ができ、同僚の勤務予定や座席位置も分

かる。仮想オフィスとリアルオフィスの融合でコミュニケーションを促進し、組織の一体感を醸成する。4月に事業化した仮想オフィスサービスの新機能として提供する。オフィスの座席はフロアマップで一覧表示し、出勤する同僚に話しかけやすい位置を予約できる。仮想オフィス環境から現実のオ

フィスの座席予約・位置確認ができる機能についてビジネスモデル

特許を出願した。仮想オフィスサービスは価格が利用人数2000人までの場合に1人当たり月額800円（消費税抜き）で、これまでに13社が試行し3社と成約した。同

サービスに座席予約・位置確認機能を標準メニューとして追加し、2025年度にライセンス数8万人で5億円

の売り上げを見込んで18～21日に幕張メッセ（千葉県美浜区）で開かれる電機・情報通信技術（ICT）の総合展示会「CEATEC（シーテック）2022」の日立ブースに仮想オフィスサービスを